

16 千種川河口・下流域

ランク: A

生態系区分
河川

区分レベル
大

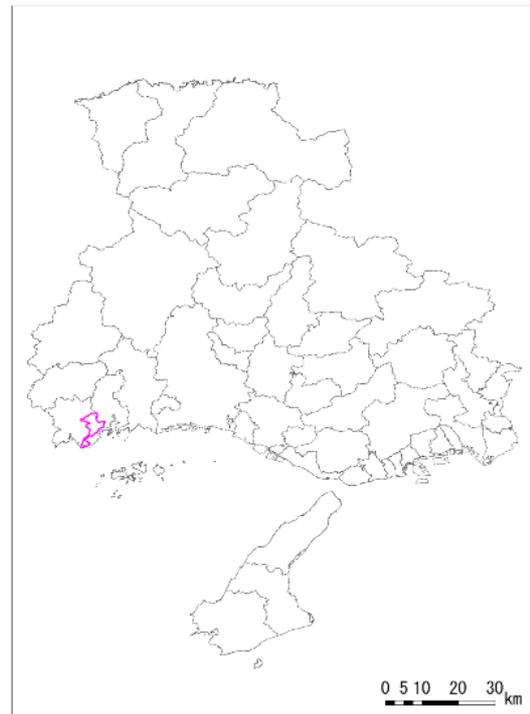
含まれる生態系(生態系区分)
河口干潟

市町名
赤穂市

場所
河口～新赤穂大橋

選定理由

希少性	多様性	特殊性	脆弱性	分布限定性	人との関わり	複合性



保全制度

-

概要

河口に多様な海浜植生、塩性湿地草原が成立し、その上流に県下でも有数の広大なヨシ原が発達している。また、ヤナギ林、オギ群落およびそれに隣接して、ハマウツボ、カワラサイコなどの貴重な植物個体群がまとまって分布する。両岸には県下で最大規模の干潟が形成される。特に左岸の唐船周辺には河口干潟・前浜干潟、砂質・砂泥質さまざまなタイプの干潟が発達する。底生動物の種類もきわめて多い。ウミホソチビゴミムシ、キバナガミズギワゴミムシなどの昆虫類、チクゼンハゼ、エドハゼ、クボハゼ、キセルハゼ、トビハゼなどの魚類、マテガイ、マゴコロガイといった希少二枚貝やハクセンシオマネキ、ウモレベンケイガニ、ヒモイカリナマコが生息する。

日本の重要湿地500に選定されている。

